

2024年9月30日

報道機関 各位

Peter Piot 博士へ「長崎大学名誉博士」の称号を授与 下村脩（ノーベル化学賞）博士に続き 2 人目

長崎大学（学長 永安 武）は、2024年9月27日、ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）元学長の Peter Piot（ピーター・ピオット）博士へ、「長崎大学名誉博士」の称号を授与することを決定しました。名誉博士の称号授与は、2008年にノーベル化学賞を受賞した下村脩博士に続き、2人目となります。

Peter Piot 博士（1949年生まれ・75歳）は、ベルギー出身。臨床医であるとともに微生物学者でもあり、1976年ザイルにてエボラウイルスを共同発見したことで世界的に知られています。1995年から2008年まで国連合同エイズ計画（UNAIDS）初代事務局長、国際連合事務次長を務めたほか、アフリカにおける HIV/AIDS、女性の健康と感染症に関する先駆的研究を主導。欧米、アフリカの研究機関で教鞭をとる傍ら、2009年にビル&メリンダ・ゲイツ財団シニアフェローに就任。米国医学アカデミー、フランス国立医学アカデミー、ドイツ国立科学アカデミーレオポルディーナ、母国ベルギーの王立医学アカデミーの会員、英国医学アカデミー及び王立内科医協会のフェロー、グローバルヘルス技術振興基金副会長、感染症流行対策イノベーション連合副会長、国際エイズ学会前会長など数多くの要職を歴任され、2010年9月に LSHTM の学長に就任されました。

2013年には、日本政府より第2回野口英世アフリカ賞を、2018年には旭日大綬章を受賞。いずれも、アフリカ各地の現場で致死率の高い感染症である HIV/AIDS やエボラ出血熱などの研究に携わり、その科学的発見や見識を国際的な感染症対応政策の立案に取り入れるなどグローバルヘルスと、アフリカの人々への多大な貢献が認められたことによります。

長崎大学では熱帯医学・グローバルヘルス研究科（TMGH）の重要な連携機関の一つとして、Peter Piot 博士が学長を務めた LSHTM と緊密な関係を築いています。特に「NU-LSHTM 国際連携グローバルヘルス専攻」では、TMGH、LSHTM の教員はもちろん、海外から著名な研究者や教員等を招聘することにより、世界最高水準の教材、カリキュラム、教育スタッフによる世界最高水準の授業が提供され、両大学院共同の学位（ジョイント・ディグリー）の取得が可能です。

これにより、TMGH 及び LSHTM が共同で実施する国際共同研究やプロジェクトに実際に参加し、日英が共同で推進する第3国での研究プロジェクトや実践プロジェクトにおいて、将来的にリーダーとして推進したり、日英のみならず、日本と欧米先進国や国際機関との連携強化を通じてグローバルヘルスを推進したりすることができる優秀な人材を、数多く世界に輩出しています。

こうして今も長崎大学をグローバルヘルス分野における世界のトップランナーとして維持、発展させる原動力となっている「NU-LSHTM 国際連携グローバルヘルス専攻」は Peter Piot 博士の存在なくして得られるものではありませんでした。

そこで長崎大学では、世界のグローバルヘルスを支え推進する人材の持続的な育成・教育システム構築に欠かせない役割を果たしていただいた功績を称え、この度 Peter Piot 博士に「長崎大学名誉博士」の称号を贈ることを決定いたしました。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

(Peter Piot 博士に関すること)

長崎大学 研究国際部 感染症研究支援企画課 熱帯医学系総務班

TEL : 095-819-7008 FAX : 095-819-7892

E-Mail : soumu_nekken@ml.nagasaki-u.ac.jp

(長崎大学名誉博士制度に関すること)

長崎大学 総務部 総務課 総務班

TEL : 095-819-2011 FAX : 095-819-2024

E-Mail : soumuka@ml.nagasaki-u.ac.jp